



〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-1 大手町パークビル 8 階

03 5208 1010 www.fmc.com www.fmc-japan.com

<ニュースリリース>

2020年4月1日

### 報道関係各位

# 秀品サポート肥料「ストラクチャー®」、4月2日より販売開始

エフエムシー・ケミカルズ株式会社(以下「FMC」)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:平井康弘)は、2020年4月2日より、秀品サポート肥料「ストラクチャー®」の販売を開始します。

世界のアグリビジネスでは化学農薬だけでは対応しきれない課題も多く、殺虫剤プレバソン®、フェルテラ®剤でおなじみの世界的な農業科学企業 FMC では、プラントヘルス事業として高付加価値肥料資材、微生物資材、種子処理の分野に投資を強化し、革新的な製品やサービスを世界で提供し急成長しています。

近年、日本においても度重なる異常気象や栽培環境の変動に対応しながら、高い安全性や持続可能性、高品質な農作物への需要は高まるばかりです。FMCは、この度日本でもプラントへルス事業を新たに立ち上げ、グローバルの強みと経験を活かして本分野に参入し、国内の多様化する生産者のニーズや要請に迅速に応えてまいります。

製品第一弾として販売開始する世界的ベストセラー「ストラクチャー®」は、高活性腐植酸「AOA(actagro organic acids®)」を 7.0%配合する液状複合肥料です。世界初の独自製法「ナノ化テクノロジー」で腐植物質を極小分子化、それらの極小分子が通常分子と同様の働きをするため、同じ成分量でありながら極めて高い活性を実現しています。

「ストラクチャー®」は発根力に優れ、初期生育を向上させ、秀品期間を続けながら収量向上を目指す「秀品名人」への道を、力強くサポートいたします。

本製品は推奨される主要作物の性質から、第一弾として北海道、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、石川、岐阜、愛知、三重、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島の各市場に投入を図ります。

本製品の供給については、FMC から卸店への直接販売の流通形態をとり、カネコ種苗株式会社(本社:群馬県前橋市、代表取締役社長:金子昌彦)、グリーンテック株式会社(本社:熊本県熊本市、代表取締役社長:安部了一)、株式会社コハタ(本社:北海道旭川市、代表取締役社長:木幡光範)、東海物産株式会社(本社:三重県四日市市、代表取締役社長:青木貴行)(50 音順)と売買契約を締結、パートナーとして共に本事業の取り組みを積極的に進め、上記の市場において活動を展開していく予定です。

今回の画期的な新製品を日本の生産者にお届けすることにより、高品質な農作物の栽培、生産性の向上をサポートし、国内農業のさらなる発展に貢献してまいります。将来的には、本製品をはじめとする高付加価値肥料資材、微生物資材、種子処理も含めたプラントヘルス事業全体に投資を強化し、30億円の事業拡大を目指してまいります。

### 【秀品サポート肥料 ストラクチャー®の製品特長】

- ・独自製法で極小分子化した活性の極めて高い腐植酸「AOA」を 7.0%配合
- ・AOA が可給態リン酸を長期間維持し、発根と根のすみずみまでの根毛発育、土壌の団粒化を促進
- ・定植後の健全・確実な土壌への活着、勝負が決まる初期成育の向上、頑強な樹作りをサポート
- ・秀品期間延長・収量向上で、反あたりの収益拡大に貢献

#### 【製品概要】

- ・商品名: ストラクチャー®
- ・登録番号: 輸第 101371 号
- ・肥料の種類: 液状複合肥料
- ・販売規格: 10ℓ(2個入/ケース)
- ・成分量(%): N-P-K=2-16-0 亜鉛: 0.2 AOA: 7
- ・推奨使用方法: 添付資料参照
- ・メーカー希望小売価格: オープン
- ·販売開始日: 2020 年 4 月 2 日
- ·製品写真: 添付資料参照
- ·製品情報: http://www.fmc-japan.com/fertilizer/structure

#### 本件に関するお問い合わせ先

エフエムシー・ケミカルズ株式会社 アグロサイエンス事業本部

TEL: 03-5208-1010 FAX: 03-5208-1012 MAIL: Japan.PR@fmc.com

#### FMC について

農業科学企業である FMC Corporation は、作物保護、プラントヘルス、衛生害虫やシロアリ、芝管理の分野において、市場主導型の発見および開発パイプラインによる製品ポートフォリオを通じ、世界中の生産者に革新的なソリューションを提供しています。この強力な先端技術の組み合わせには、Rynaxypyr®と Cyazypyr®の有効成分をベースとした主要な害虫防除製品、除草剤、Talstar®ブランドの殺虫剤、殺菌剤などがあります。FMC の製品ポートフォリオには微生物農薬も含まれています。FMC Corporation は世界中で約 6,500 人の従業員を雇用しています。詳しくは www.fmc.com をご覧ください。FMC、FMC ロゴ、®を付した商標は、FMC Corporation またはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。actagro organic acids®はアクタグロ社の登録商標です。必ずラベルの全ての指示、制限および使用上の注意をよく読んで従ってください。ここに掲載されている製品は全ての国や管轄地域で販売や使用のために登録されているわけではありません。

添付資料 1: 秀品サポート肥料 ストラクチャー® 効果的な使用時期・量・回数

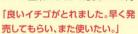
作物名	使用方法	使用時期	使用目的	処理量・希釈倍数 (目安)	おすすめの 使用回数(使用時期)
葉菜類、たまねぎ、 ねぎ、てんさい、 水稲の苗	苗灌注	播種後~定植前	健苗育成 活着促進	200倍希釈液をたっぷり灌注	2回 育苗初期 定植前
露地作物	本圃灌注	播種・植え付け後 〜生育期前半	活着 初期生育促進 土壌改善	原液 32/10a 水量は慣行灌水量に準ずる	3回 播種·定植当日 定植2週間後 定植4週間後
果菜類	苗灌注	播種後~定植前	健苗育成 活着促進	200倍希釈液をたっぷり灌注	2回 育苗初期 定植前
	本圃灌注 (灌水チューブ可)	定植後~生育期前半	活着	原液 21/10a 水量は慣行灌水量に準ずる	3回 定植当日 定植2週間後 定植4週間後
果樹類 樹木類	本圃灌注	苗木の定植後	初期生育促進 土壌改善	原液 30/10a 水量は慣行灌水量に準ずる	

### 添付資料 2: 使用事例

### ・いちごの事例

場所: 栃木県芳賀郡芳賀町 定植: 2018 年 9 月 18 日 処理日: 9 月 18 日 $(1.5\,\ell\,/10a)$ 、10 月 2 日 $(1.5\,\ell\,/10a)$  処理方法: 定植後の灌水時に灌水チューブで施用。水量は慣行の灌水量

「①葉のツヤが良く、根の張りがいい。 以前の液肥より初期生育が早い。 ②いちごの実の色が鮮やかだった。 いい品物だった。(以前のチッソ系 液肥は、実が黒ずむ傾向があるが、 ストラクチャーは大丈夫だった) ③1月を過ぎても葉がくたびれない、 老化しなかった。だから葉かきを 一度もせずに済んだ(通常は1~5月 に2~3回葉かきをする必要がある)」







### ・玉ねぎの事例

設置場所: 富良野市 圃場 品種: 北もみじ 2000 定植: 2019 年 5 月 5 日 処理日: 5 月 5 日(200 倍希釈液を 1 ℓ /トレイ施用)

「初期成育が良く、 2L、L大を中心に 増収しました。 普及性は高いと 思います。」



添付資料 3: 製品写真各種(製品、製品を持つ弊社代表取締役社長 平井康弘、製品パネル)











# 添付資料 4: 各種リンク先

処理タイミング、使用事例、Q&A: http://www.fmc-japan.com/fertilizer/structure/special

# ユーザーの声

・いちご

http://www.fmc-

 $\underline{\mathsf{japan.com/\%E3\%83\%A6\%E3\%83\%BC\%E3\%82\%B6\%E3\%83\%BC\%E3\%81\%AE\%E5\%A3\%B0/structure\_strawberry\_tochigi\_yatagai}$ 

# ・たまねぎ

http://www.fmc-

 $\frac{japan.com/\%E3\%83\%A6\%E3\%83\%BC\%E3\%82\%B6\%E3\%83\%BC\%E3\%81\%AE\%E5\%A3\%B0/structure\_onion_n_hokkaido$